



# 放射性物質の環境動態研究と 福島原発事故起源の放射性物質の移行

■高橋 純子 (筑波大学生命環境系 土壤環境化学研究室 助教)

「土壤中のイオン性物質の吸着と移行—硫酸イオンと放射性セシウム—」

■渡邊 隆広 (東北大学大学院環境科学研究科 自然共生システム学講座環境修復生態学分野 助教)

東北地方太平洋沖地震・津波後における土壤のヒ素・重金属・放射性物質汚染評価」

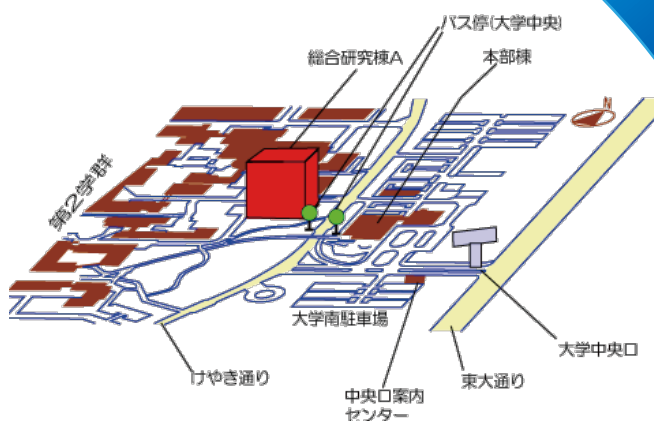
■落合 伸也 (金沢大学 環日本海域環境研究センター 低レベル放射能実験施設 博士研究員)

「湖沼堆積物を用いた流域環境変動と物質動態の研究」

■加藤 弘亮 (筑波大学アイソトープ環境動態センター 研究員)

「森林及び様々な土地利用における放射性物質の分布と水・土砂流出に伴う移行プロセスの解明」

## 【アクセスご案内】



- 秋葉原駅からつくばエクスプレス  
 →つくばエクスプレス乗車、  
 →つくば駅下車、バスターミナル  
 →「筑波大学中央」または「筑波大学循環」行きバス乗車(15-20分)、  
 バス停「筑波大学中央」下車
- 東京駅から高速バス (高速バス乗り場2番バス停)  
 →東京駅八重洲南口から「筑波大学」行きバス乗車(約65分)  
 →「筑波大学」(終点・バス停「筑波大学中央」と同じ位置)下車
- 大学構内案内  
 本専攻がある総合研究棟Aは筑波大学の北地区に当たり、  
 第2学群の東側、本部棟の西側に位置します。  
 バスでお越しの方は「筑波大学(中央)」バス停で下車後、  
 徒歩0分です。

2011年に東日本大震災を契機に発生した福島原発事故は、2年半経過した現在でも、環境に対して依然大きな影響を与え続けています。ここでは、特に土壤や湖沼堆積物における汚染の実態や今後の推移に関して、最新の研究成果が発表されます。

Date:

2013年9月3日(火) 14:00-18:00

Sep. 3(Tue), 2013 14:00-18:00

Place:

筑波大学 総合研究棟A110(1階)

Department of Integrative Environmental Sciences A-110

more info:

アイソトープ環境動態研究センター教授 恩田裕一

029-853-4226